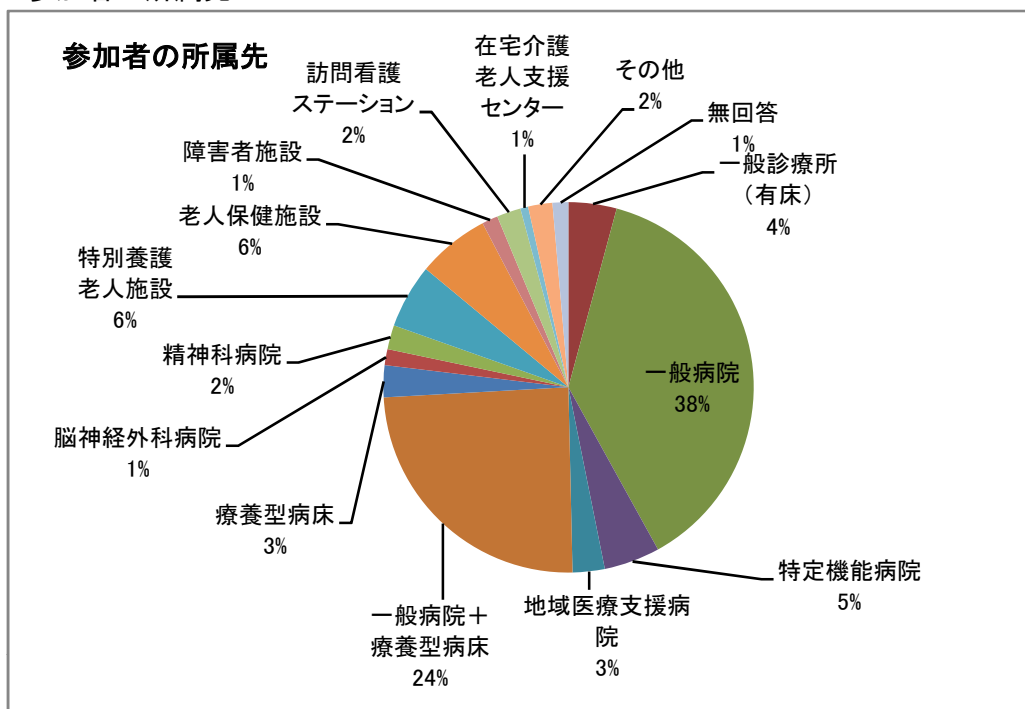


### 第3回岡山県PDNセミナー・アンケート結果

平成20年4月26日  
(サンプル数143)

#### I. 参加者のプロフィール

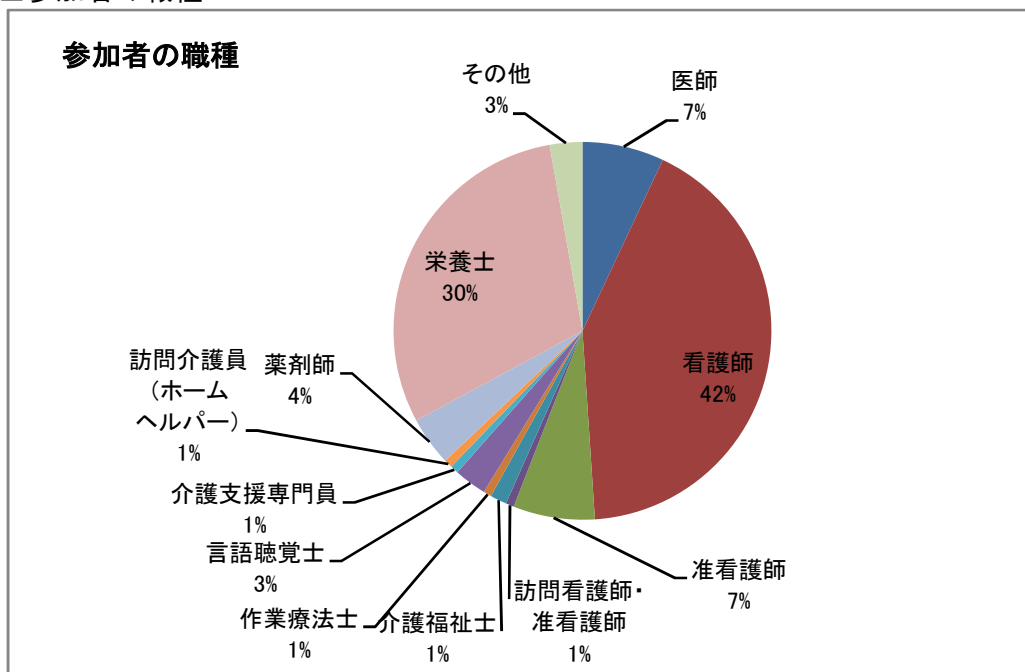
##### ■参加者の所属先



その他: 歯科診療所

N=143

##### ■参加者の職種



その他: 歯科衛生士、看護助手

N=143

■所属先の所在地

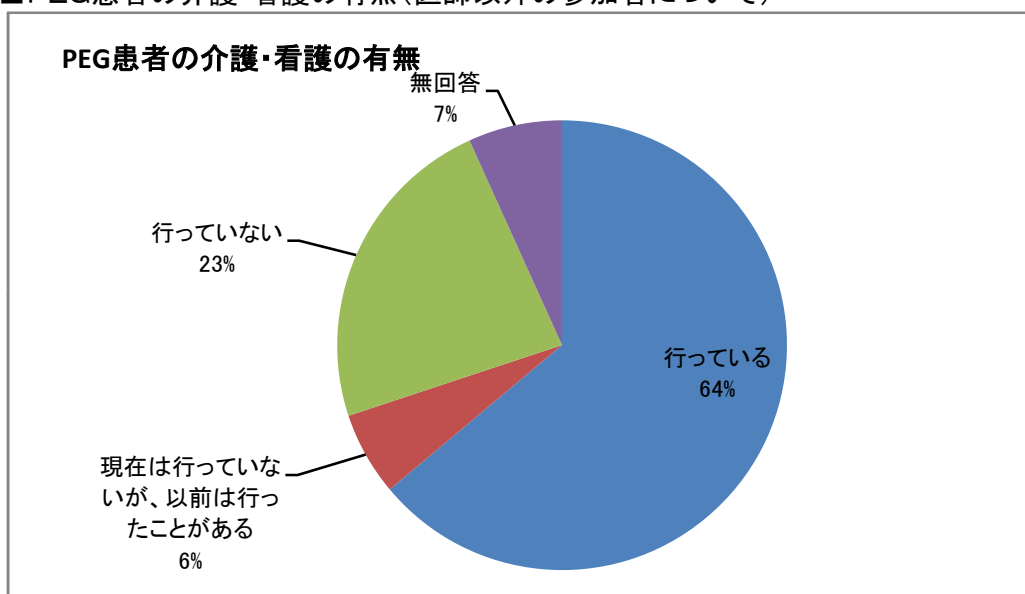
N=143

| 市、郡 | 岡山市 | 倉敷市 | 広島県福山市 | 井原市 | 真庭市 | 津山市 |
|-----|-----|-----|--------|-----|-----|-----|
| 人数  | 51  | 38  | 8      | 4   | 4   | 4   |
| %   | 36% | 27% | 6%     | 3%  | 3%  | 3%  |

| 和気郡 | 小田郡 | 笠岡市 | 赤磐市 | 備前市 | 浅口郡 | 愛媛県四国中央市 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----------|
| 4   | 3   | 2   | 2   | 2   | 2   | 1        |
| 3%  | 2%  | 1%  | 1%  | 1%  | 1%  | 1%       |

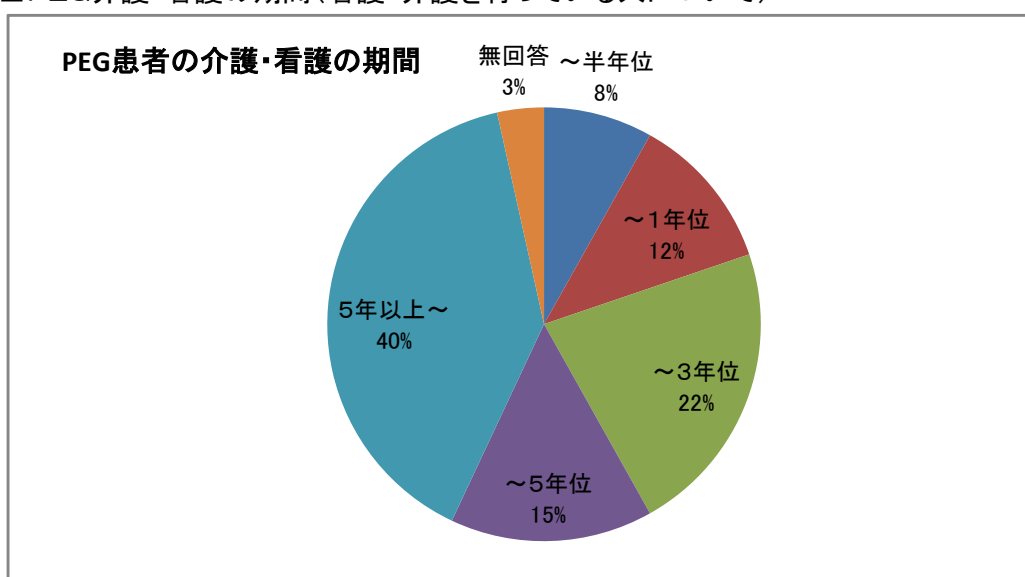
| 瀬戸内市 | 総社市 | 都窪郡 | 広島県神石郡 | 岡山県のみ | 記入なし | 合計   |
|------|-----|-----|--------|-------|------|------|
| 1    | 1   | 1   | 1      | 4     | 10   | 143  |
| 1%   | 1%  | 1%  | 1%     | 3%    | 7%   | 100% |

■PEG患者の介護・看護の有無(医師以外の参加者について)



N=133

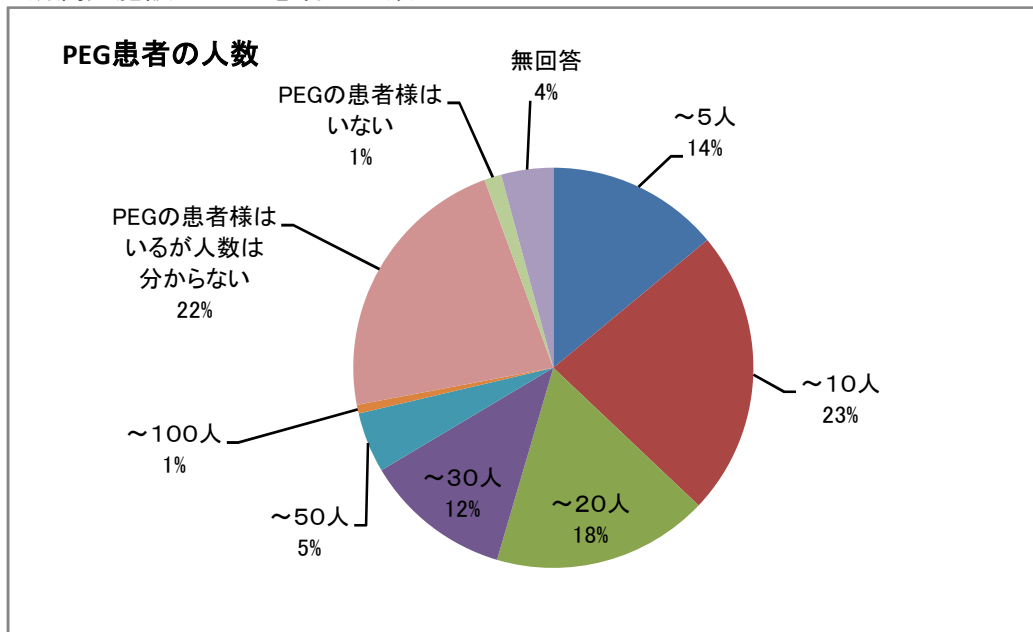
■PEG介護・看護の期間(看護・介護を行っている人について)



N=86

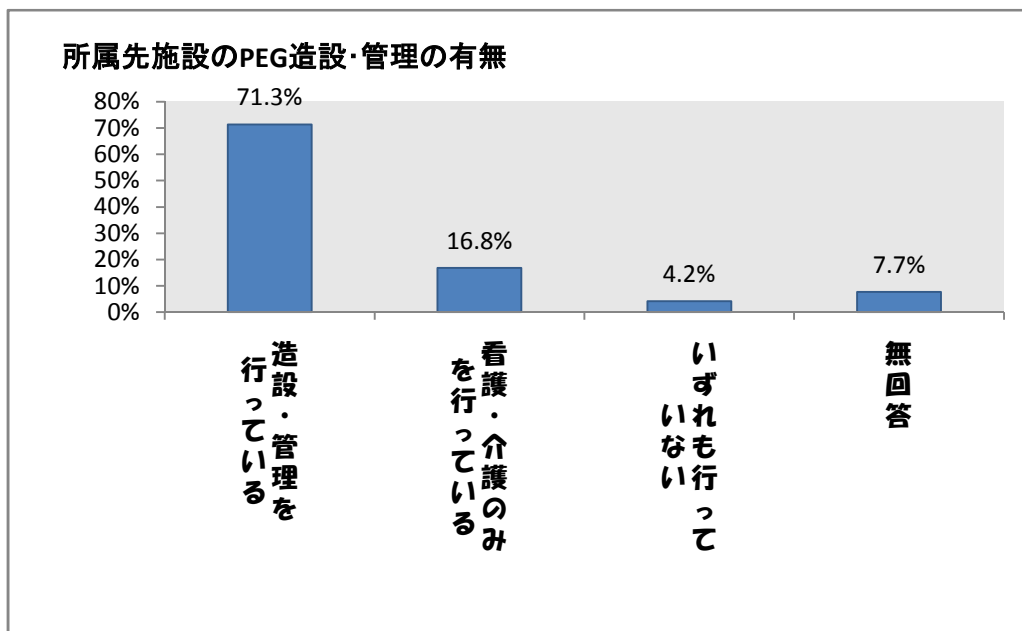
## II. 所属先施設のPEGの現状

### ■ 所属先施設のPEG患者の人数



N=143

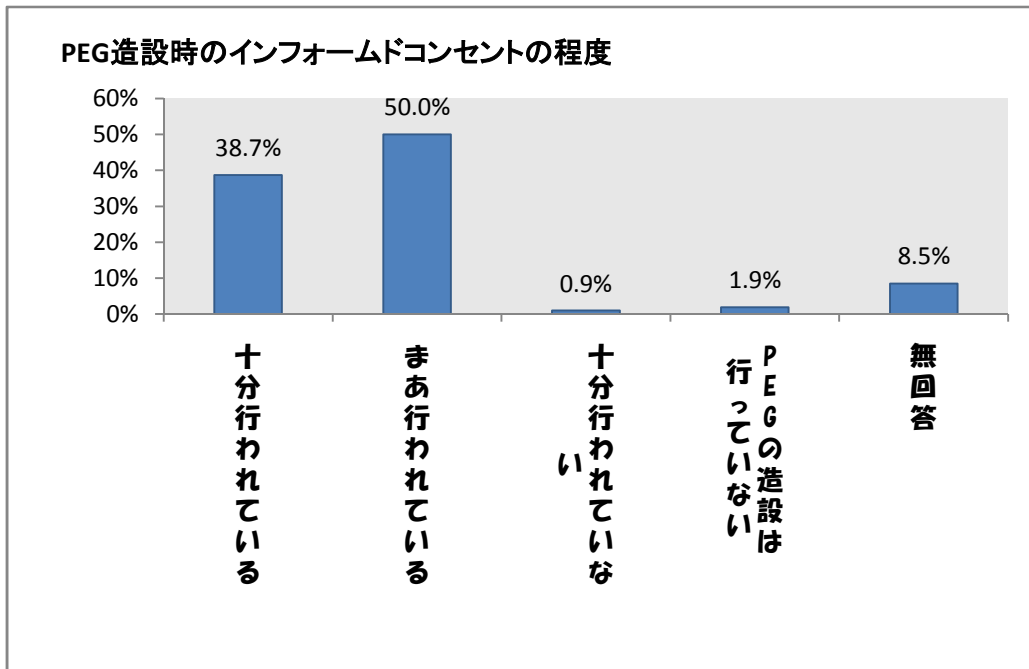
### ■ 所属先施設のPEG造設・管理の有無



N=143

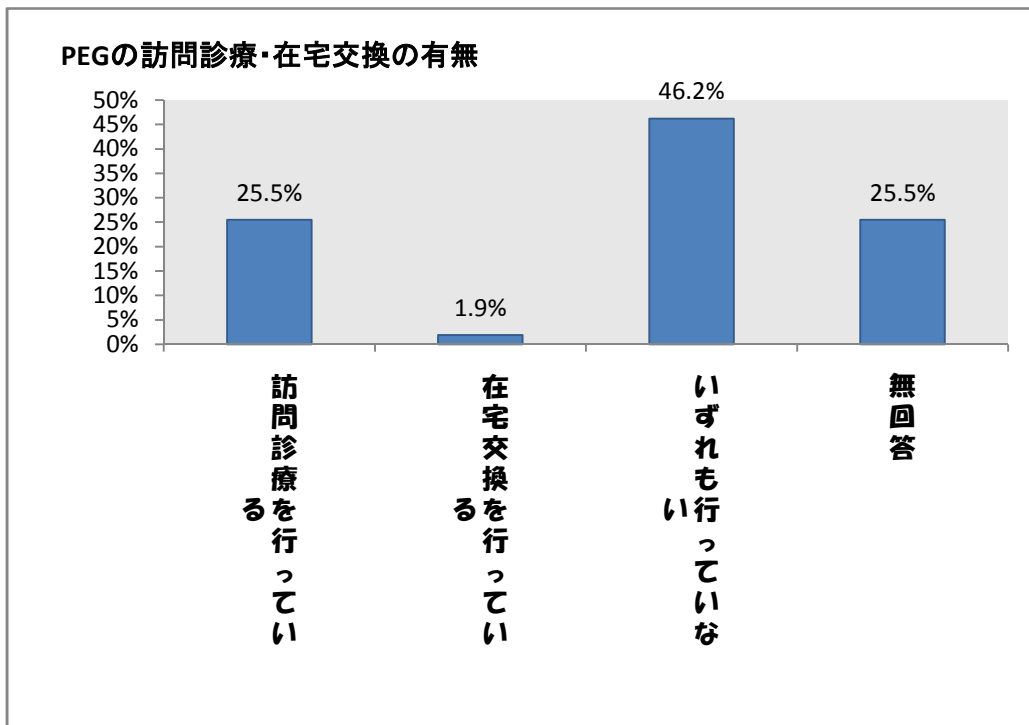
■ PEG造設時のインフォームドコンセントの程度

(所属先がPEGの造設・管理を行っている参加者について)



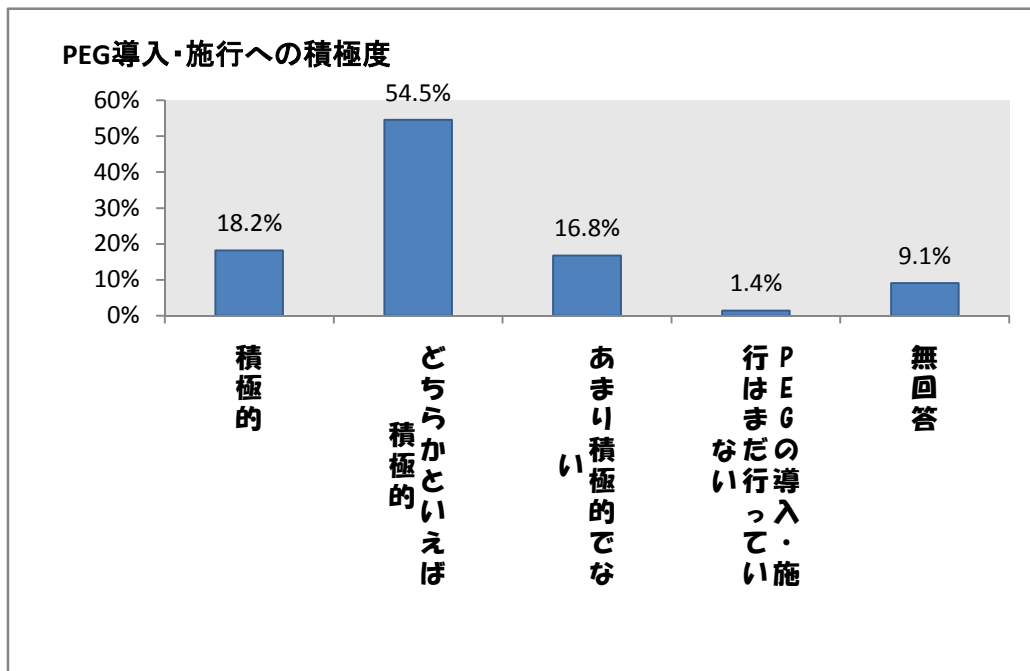
N=106

■ 所属先施設のPEGの訪問診療・在宅交換の有無



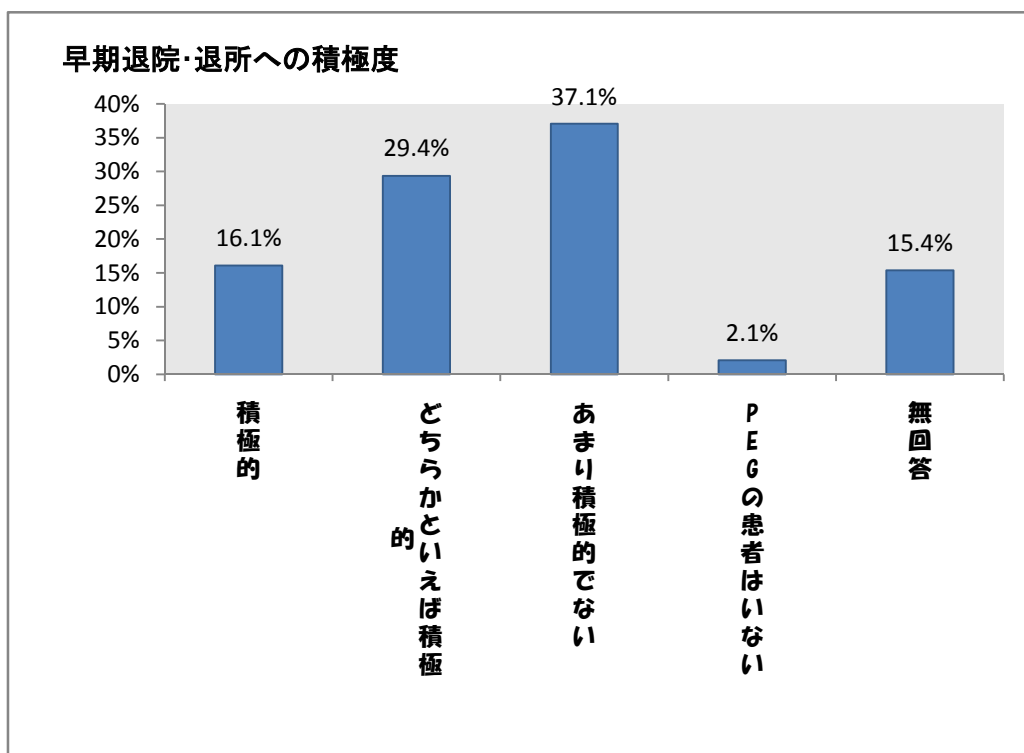
N=106

■ 所属先施設のPEG導入・施行への積極度



N=143

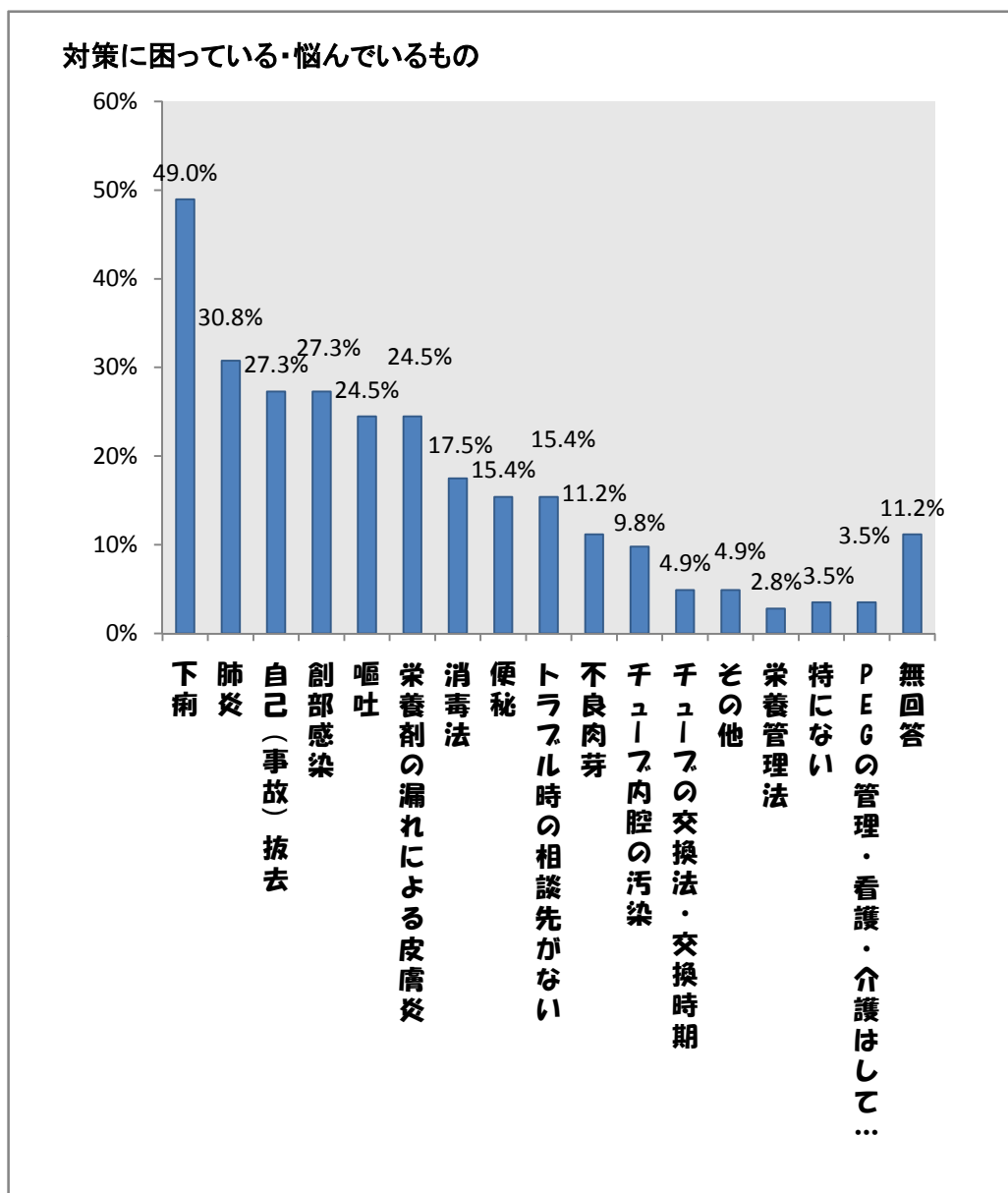
■ 所属先施設の早期退院・退所への積極度



N=143

### Ⅲ. PEGの管理・看護・介護の中で、対策に困っている・悩んでいるもの(複数回答可)

#### ■対策に困っている・悩んでいるもの



N=143

その他: 口腔ケア

PEGではなくPEJの管理

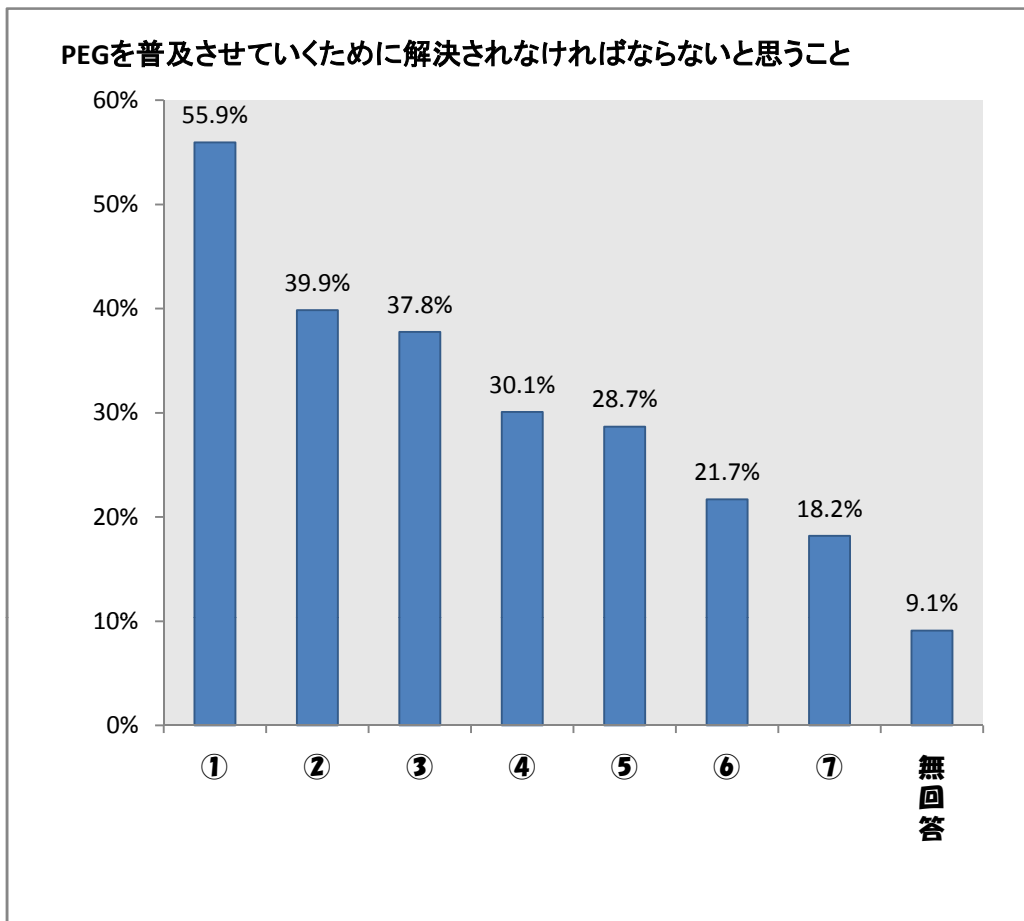
スタッフの知識不足、知識が普及してない。

何かあっても相談されない。情報があがってこない。

チューブと栄養セットの接続不良による抜け[チューブメーカーと栄養セットメーカーの相性?]

IV. PEGをもっと普及させていくために、解決されなければならないと思うこと。  
 (3つだけあげてもらった複数回答)

■ PEGを普及させていくために解決されなければならないと思うこと



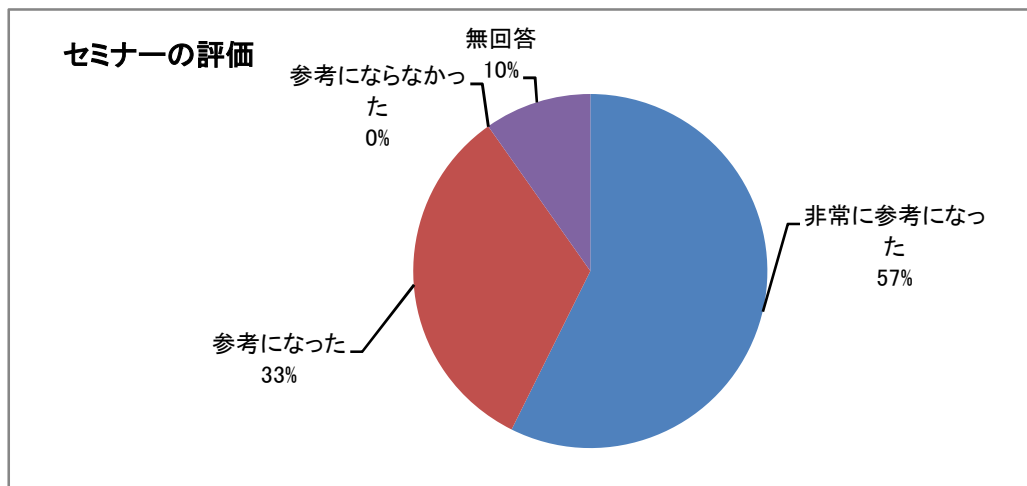
N=143

|   |   |       |
|---|---|-------|
| ① | PEGについての勉強会の充実。(PEGの栄養・嚥下についての知識の向上、NSTや在宅管理についての勉強会など)   | 55.9% |
| ② | 食べられなくなれば即PEGというのではなく、PEG本来の「役割」をいま一度考え直してみること。           | 39.9% |
| ③ | 一般の人々や病院関係者に正しい理解を持ってもらうためのPR活動の充実                        | 37.8% |
| ④ | 造設、管理、看護、介護の全般にわたる院内連携や地域連携の確立。                           | 30.1% |
| ⑤ | PEGの手技・管理の標準化。(手技の安全かつ確実な施行、合併症の発生予防、発生後の対処方法、術後ケアなどの標準化) | 28.7% |
| ⑥ | PEGの適応、危険度を示す疾患・状態別のガイドラインの作成。                            | 21.7% |
| ⑦ | 専門医や専門看護師の育成。(造設医の資格化、トラブルに対応できる専門機関の設立、コメディカルの育成など)      | 18.2% |

無回答 9.1%

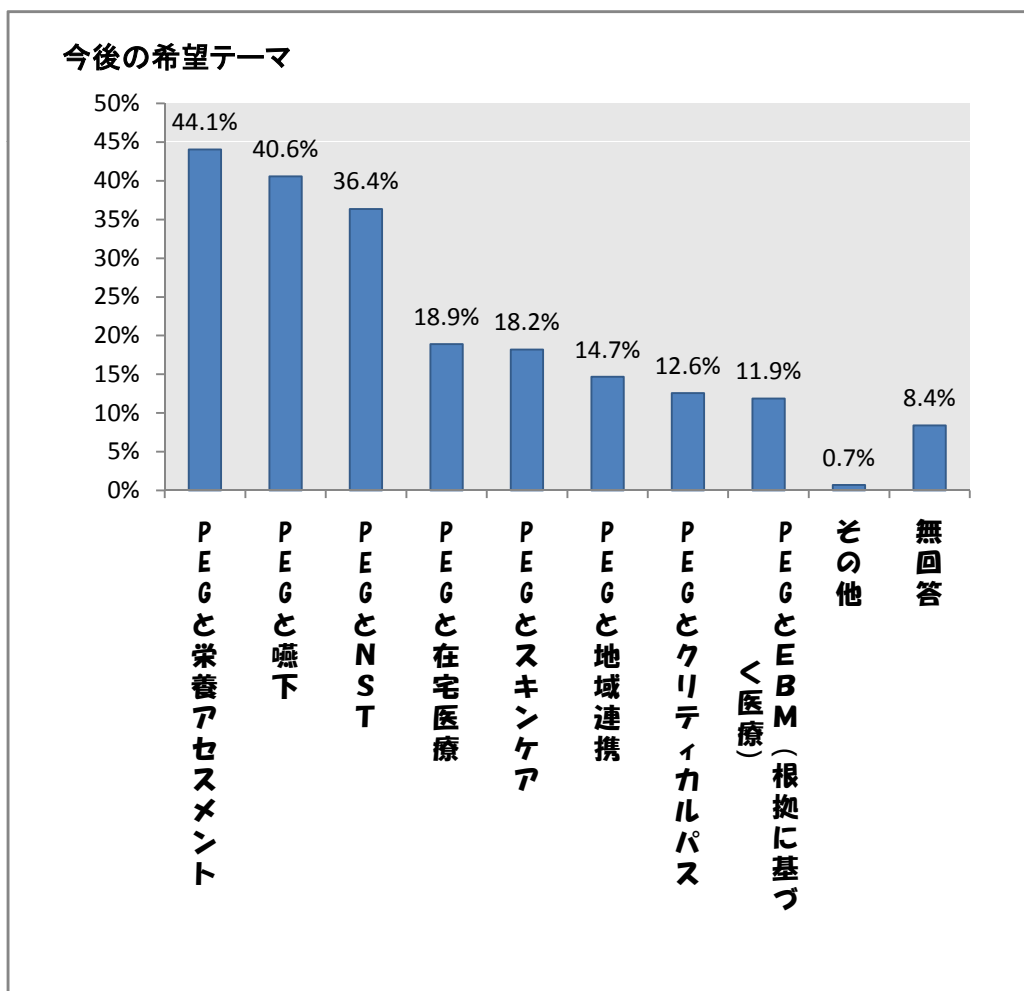
V. 今回のセミナーの評価と、今後のセミナーの希望テーマ

■ 今回のセミナー評価



N=143

■ 今後のセミナーの希望テーマ。(複数回答)



N=143

その他: PEG栄養投与量

腸瘻について、胃瘻との違いを。下痢について、栄養剤具体的な名前を。

※注入終了後、何h位ギャッジアップが必要か？



## VI. 自由回答意見

問. PEGの普及やPDNセミナーについて、どのようなことでも結構です。  
忌憚のないご意見をお聞かせください。

- 今回で3回来て勉強させてもらってます。これから、自分のためしっかり覚えて病院で行っていきたいと思います。
- 今日の三原先生は、楽しく聞かせていただきました。機会があれば再度聞きたいです。
- 他病院の質問に、まだまだ、管理ができていないことに気づきまして、ありがとうございました。
- 多くの職種の方のセミナーで、とてもよかった。
- 大変わかりやすく、お話を聞くことができました。ありがとうございました。
- 三原先生、とても楽しく聴かせていただきました。
- とても楽しかったです。三原先生に病院に来て頂いて、先生のそのしゃべりで看護師さんを納得させてください。食べるためのPEG…新しい発見でした。
- 口腔ケアに関して大変勉強になりました。今後も、口腔ケアについての講演をぜひしていただきたい。
- (PEGの普及には)様々なガイドラインが必要。
- PEG～経口への嚥下訓練の方法、栄養と体調の問題。
- PEGの造設の際には、そのリスク、または、その後の(本人の)生活がどのように変わるか、本人・家族へしっかり説明をしてから行うことが、ますます、必要であると思う。
- 院内でPEGへの正しい理解をうながすにはどうしたらよいか。苦勞してます。「栄養士」だけではなく「管理栄養士」と分けてほしいです。Ns(看護師)は分かれているのに…。

## 第3回岡山県PDNセミナー・アンケート

回収サンプル数：143

回答番号：回答内容：実数

Q1. あなたの所属先は？（ひとつだけ）

(1)一般診療所（無床）：0(2)一般診療所（有床）：6(3)一般病院：54(4)特定機能病院：7(5)地域医療支援病院：4(6)一般病院＋療養型病床：35(7)療養型病床：4(8)脳神経外科病院：2(9)精神科病院：3(10)リハビリテーション病院：0(11)特別養護老人施設：8(12)老人保健施設：9(13)有料老人施設：0(14)障害者施設：2(15)訪問看護ステーション：3(16)居宅支援事業所：0(17)在宅介護老人支援センター：1(18)その他：3 無回答：3

Q2. あなたは次のどれにあたりますか？（ひとつだけ）

(1)医師：10(2)看護師：60(3)准看護師：10(4)訪問看護師・准看護師：1(5)介護福祉士：2(6)作業療法士：1(7)理学療法士：0(8)社会福祉士：0(9)臨床心理士：0(10)言語聴覚士：4(11)介護支援専門員：1(12)訪問介護員（ホームヘルパー）：1(13)薬剤師：6(14)栄養士：43(15)その他：4 無回答：0

〔医師以外の参加者に対して N=133〕

Q3. あなたは、現在、PEGの患者様の看護・介護を行っていますか？（ひとつだけ）

(1)行っている：85 (2)現在は行っていないが、以前は行ったことがある：8  
(3)行っていない：31 無回答：9

N=86

Q4. PEGの看護・介護を行うようになってから何年位になりますか？（ひとつだけ）

(1)半年位：7(2)～1年位：10(3)～3年位：19(4)～5年位：13(5)5年以上～：34 無回答：3

〔医師に対して N=10〕

Q5. 先生のご担当診療科目は？（いくつでも）

(1)外科：2(2)内科：6(3)内視鏡科：2(4)その他：0 無回答：2

Q6. 先生がPEGの施行を行うようになったのは何年位前からですか？（ひとつだけ）

(1)～2, 3年位前：1(2)～5年位前：2(3)～10年位前：2(4)10年以上前～：2(5)PEGの施行は行っていない：1 無回答：2

Q7. PEGを施行した患者様の原疾患は何でしたか？（いくつでも）

(1)脳血管障害：8(2)認知症：5(3)神経疾患：3(4)呼吸器疾患：3(5)外傷：1(6)癌：1(7)その他：0(8)PEGの施行は行っていない：0 無回答：2

Q8. 腹腔内誤挿入を経験したことがありますか？（ひとつだけ）

(1)ある：0(2)ない：7(3)PEGの施行は行っていない：1 無回答：2

Q9. 貴院では、一年間に、PEGの施行を何件行っていますか？（ひとつだけ）

(1)～10件以下：2(2)～20件：5(3)～30件：0(4)～40件：0(5)～50件：0(6)51件以上～：0(7)PEGの施行は行っていない：1 無回答：2

〔以下、全員に対して N=143〕

Q10. 訪問看護・介護を含めて、御施設にはPEGの患者様は何人いらっしゃいますか？（ひとつだけ）

(1)～5人：20(2)～10人：33(3)～20人：25(4)～30人：17(5)～50人：7(6)～100人：1(7)101人以上～：0(8)PEGの患者様はいるが人数は分からない：32(9)PEGの患者様はいない：2 無回答：6

Q11. 御施設では、PEGの造設・管理を行っていますか？（ひとつだけ）

(1)造設・管理を行っている：102 (2)看護・介護のみ行っている：24  
↓ (3)いずれも行っていない：6 無回答：11

〔N=106〕

Q12. 御施設では、PEGの造設にあたって、患者さまご本人やご家族へのインフォームドコンセントが十分に行われていると思いますか？

(Q12のつづき)

(1)十分行われている:41(2)まあ行われている:53(3)十分行われていない:1(4)PEGの造設は行っていない:2  
無回答:9

Q13. 御施設では、PEGの訪問診療・在宅交換を行っていますか？(いくつでも)

(1)訪問診療を行っている:27(2)在宅交換を行っている:2(3)いずれも行っていない:49 無回答:27

[N=143]

Q14. 御施設は、PEGの導入・施行に積極的ですか？(ひとつだけ)

(1)積極的:26(2)どちらかといえば積極的:78(3)あまり積極的でない:24(4)PEGの導入・施行はまだ行っていない:2 無回答:13

Q15. 御施設は、PEGの造設後に積極的なリハビリを行うなど早期退院・退所に心掛けていますか？(ひとつだけ)

(1)積極的:23(2)どちらかといえば積極的:42(3)あまり積極的でない:53(4)PEGの患者はいない:3 無回答:22

Q16. PEGの管理・看護・介護の中で、対策に困っている・悩んでいるものがありますか？(いくつでも)

(1)自己(事故)抜去:39(2)肺炎:44(3)嘔吐:35(4)下痢:70(5)便秘:22(6)栄養剤の漏れによる皮膚炎:35(7)不良肉芽:16(8)創部感染:39(9)チューブの交換法・交換時期:7(10)チューブ内腔の汚染:14(11)消毒法:25(12)栄養管理法:4(13)トラブル時の相談先がない:22(14)その他:7(15)特にない:5(16)PEGの管理・看護・介護はしていない:5 無回答:16

Q17. PEGをもっと普及させていくためには、どのようなことが解決されなければならないと思いますか。次の中から3つだけ挙げてください。(3つだけ)

- |   |                |
|---|----------------|
| ① PEGについての勉強会の充実。(PEGの栄養・嚥下についての知識の向上、NSTや在宅管理についての勉強会など)   | 80<br>55.9%    |
| ② 食べられなくなれば即PEGというのではなく、PEG本来の「役割」をいま一度考え直してみることに。          | 57<br>39.9%    |
| ③ 一般の人々や病院関係者に正しい理解を持ってもらうためのPR活動の充実                        | 54<br>37.8%    |
| ④ 造設、管理、看護、介護の全般にわたる院内連携や地域連携の確立。                           | 43<br>30.1%    |
| ⑤ PEGの手技・管理の標準化。(手技の安全かつ確実な施行、合併症の発生予防、発生後の対処方法、術後ケアなどの標準化) | 41<br>28.7%    |
| ⑥ PEGの適応、危険度を示す疾患・状態別のガイドラインの作成。                            | 31<br>21.7%    |
| ⑦ 専門医や専門看護師の育成。(造設医の資格化、トラブルに対応できる専門機関の設立、コメディカルの育成など)      | 26<br>18.2%    |
|   | 無回答 13<br>9.1% |

Q18. きょうのセミナーは参考になりましたか？(ひとつだけ)

(1)非常に参考になった:82(2)参考になった:47(3)参考にならなかった:0 無回答:14

Q19. 今後のセミナーのテーマでは何を希望しますか？(いくつでも)

(1)PEGと嚥下:58(2)PEGと栄養アセスメント:63(3)PEGとスキンケア:26(4)PEGと在宅医療:27(5)PEGとNST:52(6)PEGとクリティカルパス:18(7)PEGと地域連携:21(8)PEGとEBM(根拠に基づく医療):17(9)その他:1 無回答:12

Q20. 所属先の所在地は？

県 市・郡

Q21. PEGの普及やPDNセミナーについて、どのようなことでも結構です。忌憚のないご意見をお聞かせください？